

2021年2月5日

各市(区)町村長殿

公益社団法人 全国学校図書館協議会
理事長 設楽 敬一

学校図書館整備推進会議
代表 設楽 敬一

日本児童図書出版協会
会長 竹下 晴信

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用に関する要望

内 容：地方創生臨時交付金を図書館の充実に充当する件

対象事業：#28 図書館パワーアップ事業

理 由：政府は、子どもの読書活動や学習活動を支援するため、「学校図書館図書整備等5か年計画」を実施し、学校図書館の図書、人材ともに改善されつつあります。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、読書環境、学習環境の変化は、子どもたちの多様なニーズに対応できる学校図書館の蔵書拡充が喫緊の課題となっています。学校図書館の図書、教材を充実させ、さらなる子どもの読書推進と探究学習を促進することを希望します。

交付金は、読書習慣を身につける入口となり、思考と創造力を育む基本となる絵本、児童図書の購入にあて、さらには教科学習に欠かせない百科事典、図鑑、辞典などの教材配備をはじめ、情報化時代に不可欠な新聞の複数整備などにあてることを要望します。

こうした教材の拡充は、GIGA スクール構想が求める主体的・対話的で深い学びの力を育み、インターネットを用いた授業にも柔軟に対応できる基礎的な言語能力の育成に欠かせないものであり、学校図書館のより一層の充実を求めます。